

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備科 共通学科教育) 平成30年度 第1学年															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	1通	68	2	○			○	○			
○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
○			航空法規	航空整備士に必要な関係法規を理解させる	1通	68	2	○			○	○			
○			航空力学	流体力学、空気力学の基礎及び、飛行機の特長、諸現象について理解させる	1通	105	3	○			○	○			
○			航空機構造学	飛行機の構造、装置、各種システムの概要を理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			航空機材料学	航空機に使用されている材料の規格、性質について理解させる	1通	68	2	○			○	○			
○			発動機学	発動機の基礎知識、構造、作動について理解させる	1通	136	4	○			○	○			
○			航空電気学	航空機の電気に係る基礎知識、理論及び、装備品、各システムについて理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			航空計器学	航空機用計器の構造、機能、取扱及び、無線機器の動作原理、運用について理解させる	1通	102	3	○			○	○			
○			基本技術	航空機の整備に必要な基本技術の知識を習得させる	1通	204	6	○			○	○			
合計			12 科目		1057単位時間(31単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 二等航空運航整備士コース) 平成30年度 第2学年

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	2通	34	1	○			○	○			
○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	2通	68	2	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	2通	102	3	○			○	○			
○			PC実習	マイクロソフト ワード及び、エクセルの基本操作について理解させる	2通	34	1			○	○		○		
○			材料実習	超音波探傷試験の基礎から適用方法を理解させ資格取得を目指す	2通	105	3			○	○		○		
○			基本技術Ⅱ	航空機の整備技術の基礎をなす基本作業全般を理解させる	2通	241	7			○	○		○		
○			システム実習	整備に必要な作業・検査についての基本技術の習得と、C172の各システムの構成、機能、作動を理解させる	2通	118	4			○	○		○		
○			発動機実習	ピストンエンジンの構造、機能及び、プロペラの理論、構造、機能を理解させる	2通	105	3			○	○		○		○
○			装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について理解させる	2通	105	3			○	○		○		
○			電子回路実習	電子回路図の読解、電子技術の基礎知識、計測機器の使用法等について理解させる	2通	68	2			○	○			○	
○			航空機取扱	C172の運航整備業務と技術管理について理解させる	2通	105	3			○	○		○		○
合計			11 科目		1085 単位時間(32単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(工業専門課程 航空整備科 二等航空運航整備士コース) 平成30年度 第3学年

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	3通	34	1	○			○	○			
○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	3通	34	1	○			○	○			
○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	3通	34	1	○			○	○			
○			基本技術Ⅱ	航空機の整備に必要な基本作業及び、検査の方法を習得させる	3前期	204	12			○	○		○		
○			飛行機実習	C172 の各システムの構成、機能、作動を理解させる	3通	141	6			○	○		○		
○			発動機実習	0-320, TS10-520 エンジンの各系統、構造、機能、取扱い及び、プロペラ構造、機能、取扱いについて理解させる	3通	78	3			○	○		○		
○			装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について理解させる	3通	83	3			○	○		○		
○			航空機取扱	C172 の運航整備業務と技術管理について理解させる	3通	117	6			○	○		○		
合計			8 科目		725 単位時間(33単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週